

MOTのための価値経営

Value-based Management for MOT

| | | | |
|------|--------------|---------|----------------|
| 担当教員 | 三宅将之（専任） | 単位数 | 2単位 |
| 開講学期 | 秋学期 | 開講曜日・時限 | 土曜日 3・4時限目（隔週） |
| 位置づけ | 財務・会計分野 応用段階 | | |

| 科目紹介 | |
|-------------|--|
| 科目の重要性・必要性 | ビジネスリーダーには、企業経営を通じ企業価値を向上させることが求められる。自社の企業価値、事業価値、技術やブランドの潜在的価値、その「価値」算定方法、これら価値に影響を与える因子（バリュードライバー）を抽出し、企業価値の向上のための方法論を理解し、活用できることが求められる。 |
| 科目の目的 | <p>本講座では、「価値」とは何かを考えるとともに、自社の企業価値、事業（プロジェクト）価値、技術やブランドの潜在的価値等の理解を深め、その「価値」算定方法を学習するとともに、これら価値に影響を与える因子を抽出し、企業価値の向上のための方法論について考える。</p> <p>経営戦略や事業計画、M&Aや設備投資などのビジネス活動がキャッシュフローをどのように変化させ、企業価値にどう影響するのかを考察し、経営の実務でのキャッシュの重要性を理解する。</p> <p>財務計画を含む事業計画書の作成、銀行融資や株式投資家の基本スタンスを踏まえた交渉の要点、クラウドファンディング活用の可能性検討等、ファイナンスのセンスを身に付けることを目指す。</p> |
| 到達目標 | 価値創造経営に関する基本的な概念や枠組み、方法論（DCF法、資本コスト、価値評価手法等）を理解し、活用できることを目指す。 |
| 受講してもらいたい院生 | <ul style="list-style-type: none">・ 現在あるいは将来、経営戦略や事業計画の策定に関係し、ビジネスリーダーを目指す院生の受講をお勧めします。・ 本講座は、「価値」の観点から事業計画を捉え経営について学ぶ。同様に「リスク」の観点から事業計画を捉える「戦略的事業リスク経営と企業倫理」と合わせて受講することを勧めます。 |

授業計画

| | | |
|-----|---------|--|
| 第1回 | 予習・復習時間 | 2時間 |
| | 予習・復習内容 | (復習) 第1回配付資料を確認・復習することが望ましい。 |
| | 授業内容 | 【全体オリエンテーション】 ・「価値」とは何か? 「価値経営」とは何か? MOTと価値経営の関係について |
| 第2回 | 予習・復習時間 | 2時間 |
| | 予習・復習内容 | (予習) 第1回配付資料を確認・復習し、今回の授業に臨むことが望ましい。 (復習) 第2回配付資料を確認・復習することが望ましい。 |
| | 授業内容 | 【「付加価値」とは?】 ・付加価値創造プロセスと付加価値分析について |
| 第3回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | (予習) 第2回配付資料を確認・復習し、今回の授業に臨むことが望ましい。 (復習) 第3回配付資料を確認・復習することが望ましい。 |
| | 授業内容 | 【企業価値評価】 ・企業価値の考え方と必要とされる背景 ・「企業価値」と「事業価値」 ・企業価値はどのように算出するのか? |
| 第4回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | (予習) 第3回配付資料を確認・復習し、今回の授業に臨むことが望ましい。 (復習) 第4回配付資料を確認・復習することが望ましい。 |
| | 授業内容 | 【「経済付加価値」、「市場付加価値」】 ・「企業価値」と「経済付加価値」、「企業価値」と「市場付加価値」 |

| | | |
|-----|-------------|--|
| 第5回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | (予習) 第4回配付資料を確認・復習し、今回の授業に臨むことが望ましい。 (復習) 第5回配付資料を確認・復習することが望ましい。 |
| | 授業内容 | 【「価値経営」とは?】 ・「資本コスト」について ・企業価値・事業価値を重視した経営の実践例 |
| 第6回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | (予習) 第5回配付資料を確認・復習し、今回の授業に臨むことが望ましい。 (復習) 第6回配付資料を確認・復習することが望ましい。 |
| | 授業内容 | 【企業価値経営 (VBM) について (1)】 ・VBMとは? MOTからみたVBMのあり方について考える。 |
| 第7回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | (予習) 第6回配付資料を確認・復習し、今回の授業に臨むことが望ましい。 (復習) 第7回配付資料を確認・復習することが望ましい。 |
| | 授業内容 | 【企業価値経営 (VBM) について (2)】 ・技術やブランドの価値算定・評価方法について |
| 第8回 | 予習・復習時間 | 6時間 |
| | 予習・復習内容 | (予習) 第7回配付資料を確認・復習し、今回の授業に臨むことが望ましい。 (復習) 第8回配付資料を確認・復習することが望ましい。 |
| | 授業内容 | 【企業価値経営 (VBM) について (3)】 ・バリュードライバー分析について |
| | 授業課題 | 有 |
| | 課題フィードバック方法 | 全体へのフィードバック |

| | | |
|------|---------|--|
| 第9回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | (予習) 第8回配付資料を確認・復習し、今回の授業に臨むことが望ましい。 (復習) 第9回配付資料を確認・復習することが望ましい。 |
| | 授業内容 | 【企業価値経営 (VBM) について (4)】 ・ デシジョンツリー法とリアルオプション法 ・ リアルオプション法演習 |
| 第10回 | 予習・復習時間 | 6時間 |
| | 予習・復習内容 | (予習) 第9回配付資料を確認・復習し、今回の授業に臨むことが望ましい。 (復習) 第10回配付資料を確認・復習することが望ましい。 |
| | 授業内容 | 【中間まとめ・ディスカッション】 ・ 第1回～9回の講義のまとめ、ディスカッション ・ 課題レポートの出題、並びに進め方について概要説明 |
| 第11回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | (予習) 第10回配付資料を確認・復習し、今回の授業に臨むことが望ましい。 (復習) 第11回配付資料を確認・復習することが望ましい。 |
| | 授業内容 | 【企業分析手法】 ・ 事業計画のベースとなる企業の実態把握、企業分析手法 |
| 第12回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | (予習) 第11回配付資料を確認・復習し、今回の授業に臨むことが望ましい。 (復習) 第12回配付資料を確認・復習することが望ましい。 |
| | 授業内容 | 【事業計画について】 ・ 財務3表が連携する財務計画の作り方 |

| | | |
|------|---------|--|
| 第13回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | (予習) 第12回配付資料を確認・復習し、今回の授業に臨むことが望ましい。 (復習) 第13回配付資料を確認・復習することが望ましい。 |
| | 授業内容 | 【事業計画書作成演習】 ・ 事業計画書作成についてチーム演習 |
| 第14回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | (予習) 第13回配付資料を確認・復習し、今回の授業に臨むことが望ましい。 (復習) 第14回配付資料を確認・復習することが望ましい。 |
| | 授業内容 | 【銀行融資や株式投資家の基本スタンス】 ・ 銀行融資や株式投資家の基本スタンスを踏まえた交渉の要点 ・ クラウドファンディング活用の可能性 ・ 資金調達に関するチーム演習 |
| 第15回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | (予習) 第14回配付資料を確認・復習し、今回の授業に臨むことが望ましい。 (復習) 第15回配付資料を確認・復習することが望ましい。 |
| | 授業内容 | 【授業総括・ディスカッション】 ・ 授業全体を振り返り、理解内容を再確認する。 ・ 課題レポートの発表 |

| 授業情報 | |
|------|---|
| 授業方法 | 講義とチーム演習／ディスカッションで進める。演習／ディスカッションを通じての相互啓発・理解も重視。 |
| テキスト | 各回ごとにパワーポイント形式のテキストを配布。 |
| 参考図書 | 適宜紹介する。 |

| 評価方法 | | |
|--|------------|----|
| 評価の視点 | 評価 ウェイト | 備考 |
| 課題（レポート）を通じて、 理解度の確認、自社の課題 解決に向けての適用力を評価 | 60% | |
| 授業（チーム演習、ディス カッション）への参画姿勢 | 40% | |
| 合計 | 100% | |

| 受講生へ (授業科目のアピールポイント、必要な基礎となる科目の履修や知識・スキル) |
|--|
| 「管理会計」の受講をお勧めするが、未受講者にとっても支障がない授業運営とする。 |